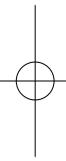
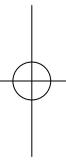


NEC

取扱説明書

30.0 型 (76.8cm) 600 万画素 カラーディスプレイ

MD302C6



重要

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、ご使用前に必ず「安全上の注意」を読んで正しくお使いください。

「取扱説明書」はできる限り身近なところで大切に保管してください。
保証書は必ず販売店名などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。

Model: MD302C6

もくじ

はじめに.....	3
安全上の注意.....	7

準備

付属品を確認してください.....	11
製品の特長.....	12
各部の名称と働き.....	13

導入

接続のしかた.....	16
ケーブルカバーの取り扱い.....	19
ディスプレイの角度調整.....	20
表示画面を切り替える.....	21
ディスプレイ情報を表示させる.....	25
OSD 設定機能一覧.....	27
インフォメーションを表示させる.....	28
プレゼントステートを表示させる.....	29
DICOM 適合性試験の実施方法.....	30
OSD メニューを切り替える.....	33
EDID データを切り替える.....	34
コンフィグレーションデータの切替方法.....	36
入力ソースの自動切替設定.....	38
ダイレクト OSD メニュー設定.....	39
出画しないで OSD を操作する方法.....	43

参考

参 考.....	45
USB ハブを使うときは.....	46
入力信号.....	48
故障かな？と思ったら.....	49
お手入れについて.....	50
製品を廃棄するときは.....	50
市販のアームを取り付けるときは.....	51
盗難防止セキュリティロックスロット.....	52
仕 様.....	53
アフターサービス.....	55
Registration Information.....	56
オープンソースソフトウェアライセンスについて.....	58

はじめに

このたびは、当社のカラー液晶ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書をよくお読みになり、正しくお使いいただくようお願いいたします。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品をお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、ご理解された上で正しくお使いください。
また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるように大切に保管してください。

使用目的

この製品は訓練された医療従事者により使用される製品です。

保証書について

保証書は内容をよくお読みの上、必要事項を記入して大切に保管してください。
修理をするときには、必ず保証書をご用意ください。

責任制限

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用のため弊社より供給されたソフトウェアの使用により発生したいかなる損害(期限にかかわるもの、ビジネス上の、利益の減少および遅延や情報にかかわるもの、その他、金銭上の不利益)が、たとえその発生が当方において予想されたとしても、弊社は一切責任を負いません。

お知らせ

- 本機は輝度安定化回路を装備しております。JESRA X-0093に基づき、定期的におこなうディスプレイ品質管理の不変性試験を少なくとも1年ごとにおこなうことをおすすめします。

電波障害自主規制(VCCI)について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

瞬時電圧変動について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不具合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

電源コードの重要情報

下記の表にしたがい、この表示を備えている電源コードを使用してください。

もしも、製品に電源コードが付属されていない場合は、購入元にお問い合わせください。

その他の国で使用する場合、コンセントの交流電圧と一致した、その国の安全基準によって認証されている電源コードをご使用ください。

北米では医用ディスプレイにはホスピタルグレードの電源コードを使用しなければなりません。

国	米国 / カナダ	欧州(英国以外)	英国	中国	日本
プラグ形状					
電圧	120	230	230	220	100

注意 この製品は、購入された国でのみ修理サービスを受けることができます。



グリーンマーク

JIS C 0950(通称J-Moss)とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<http://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

DisplayPort、DisplayPort Compliance Logoは Video Electronics Standards Associationの商標です。



* Windowsは米国Microsoft Corporationの米国、およびその他の国における登録商標です。

* VESAは、Video Electronics Standard Associationの商標です。

* 記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

安全にお使いいただくための絵記号について

ここでは、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

その表示と意味は次のようになっています。

■絵表示について

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

	△で示した記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容が描かれています。 例)  「感電注意」を表す絵記号
	⊘で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)です。記号の中には、具体的な禁止内容が描かれています。 例)  「分解禁止」を表す絵記号
	●で示した記号は、必ずしたがっていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容が描かれています。 例)  「電源プラグをコンセントから抜いてください」を表す絵記号

本文中の記号について

重要

使用前に必ず読んでいただきたい内容を記述しています。

お願い

取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ

取扱い上、参考にしていただきたい内容

注意

お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。



操作に関する内容を記述しています。必要に応じてお読みください。



本書内の参照ページを記述しています。

記号表示について

本製品には次のような記号やラベルの表示があります。

	一般注意：特定しない一般的な注意を示しています。
	感電や火災に関しては、ANSI/AAMI ES60601-1(2005)+A1(2012)、CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1(2008) に適合しています。
	医療機器に関する指導(93/42/EEC)に適合していることを示しています。
	米連邦通信委員会(FCC)の認可を取得しています。
	この装置は、VCCI協会のクラスB情報技術装置です。
	欧州のWEEE 指令マークです。
	取扱説明書を参照してください。
	交流電源マーク
	電源のスタンバイ(準備中)マークです。
	メイン電源スイッチ ON
	メイン電源スイッチ OFF

安全上の注意

⚠ 警告

 分解禁止	<p>本製品を分解・修理・改造はしないでください。 火災、感電、けが、故障の原因となります。 修理・点検は、お買い求めの販売店に依頼してください。 分解や改造をした場合、修理をお断りしたり、保証期間であっても有償修理となる場合があります。</p>
 火災	<p>故障した状態や異常のまま使用しないでください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。</p>
 接触禁止	<p>画面が破損して漏れた液晶(液体)には、触れないでください。 液晶パネルを破損した場合、液晶(液体)が漏れることがあります。液晶に触れたり、口に入れたりしないでください。中毒や皮膚がかぶれる原因となります。誤って目や口に入った場合は、すぐに流水で洗浄し、医師に相談してください。皮膚や衣服に付着したときは、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。液晶には刺激物質が含まれています。</p>
 禁止	<p>本体の上にものを置いたり、かぶせないでください。 そのまま使用を続けると故障や火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>ケーブルの上にものを置いたり、かぶせないでください。 そのまま使用を続けると故障や火災の原因となります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>濡れた手で本製品を取り扱わないでください。 感電や本製品の故障の原因となります。</p>
 電源プラグを 抜く	<p>煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。 お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
 電源プラグを 抜く	<p>本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品の電源 スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして火災や感電の原因とな ります。お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
 電源プラグを 抜く	<p>液体や異物が内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコ ンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。 お買い求めの販売店にご相談ください。</p>

⚠ 警告

 接触禁止	<p>落雷での事故防止のため、近くで雷が鳴り出したら電源プラグやコードには触れないでください。 感電の原因となります。</p>
 厳守	<p>電源コードは必ず本製品付属のものを使用してください。 付属品以外のもを使用した場合、発煙、発火など故障の原因となります。</p>
 厳守	<p>本製品はAC100V専用です。指定以外の電圧で使用しないでください。 指定以外の電圧で使用した場合、発煙、発火など故障の原因となります。</p>
 厳守	<p>電源プラグの接続に関しては以下に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグを抜くときはプラグ部分を持つ。コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。 • めくれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。 • 電源プラグはほこりなどが付着していないように定期的に清掃する。火災・感電の原因となります。 • タコ足配線しない。火災・感電の原因となります。 • 電源プラグの周辺にものを置かない。異常時に電源プラグがすぐに抜けるようにしておいてください。 • 電源コードを傷つけない重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因となります。 • 電源プラグを奥までさしこむしっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。
 厳守	<p>本製品の移動、取り付けや取り外しの際は、本製品に接続している機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の原因となります。</p>
 厳守	<p>梱包用のビニール袋は子供の手の届かない場所に保管してください。 梱包用のビニール袋をかぶったりすると、窒息の原因となります。</p>
 厳守	<p>地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減する為に、転倒・落下防止対策をおこなってください。 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。</p>

⚠ 注意

 厳守	<p>本製品は、屋内に設置してください。 本製品は、屋外・船舶・車載仕様ではありません。</p>
 禁止	<p>風通しの悪い場所、ほこり、湿気の多いところ、油煙・湯気の当たる場所には設置しないでください。 火災・感電・故障の原因となることがあります。設置に関しては据付指示書を参照してください。</p>

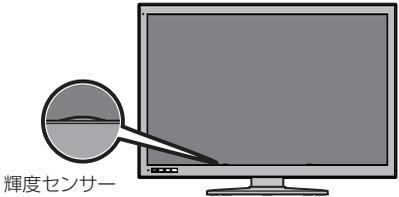
⚠ 注意

 禁止	<p>不安定な場所に置かないでください。 落下・転倒によりけがや故障の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。 キャビネットや部品などに悪影響を与え、発熱・発火の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>次のような場所に設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い磁界の発生する場所 ・振動の発生する場所 ・腐食性のガスが発生する場所 ・静電気の発生する場所 <p>故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>本製品は、結露したまま使わないでください。 本製品を寒い部屋から暖かい部屋に移動すると、表面や内部が結露する場合があります。 必ず結露がなくなってからお使いください。そのまま使うと故障の原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>ディスプレイをおお向けで使用したり、換気できないところに組み込んだの使用はしないでください。 内部温度上昇により、キャビネットや部品などに悪影響を与え、寿命低下・故障・発熱・発火の原因となることがあります。</p>
 厳守	<p>長時間使用する場合は、1時間に10～15分間目を休めてください。 眼精疲労などの原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>ディスプレイや置き台には乗らないでください。 また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
 プラグを抜く	<p>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください。</p>

液晶ディスプレイについて

 厳守	<p>正しい取扱いをしている場合でも、電波の状況によりラジオやテレビの受信に影響をおよぼすことがあります。 このようなときには、次の点にご注意ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本機とラジオ、テレビを十分離してご使用ください。 2) 本機とラジオ、テレビを別のコンセントに接続してください。
 禁止	<p>液晶パネル面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。 干渉縞が発生するなど表示異常を起こしたり、パネルに傷が付いたりして液晶パネル故障の原因となることがあります。</p>

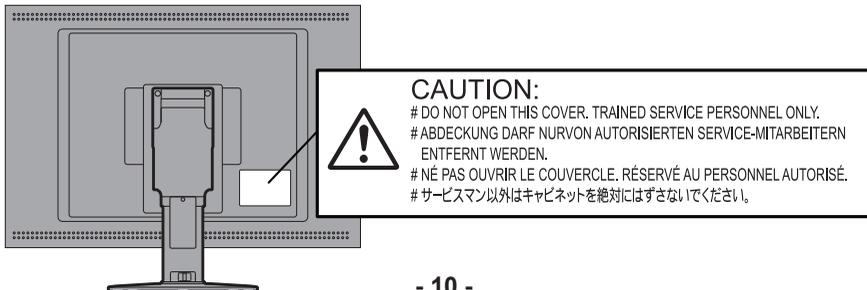
液晶ディスプレイについて

 禁止	<p>残像の原因となる場合がありますので、長時間静止画像を表示しないでください。 残像とは、長時間同じ静止画像を表示して、表示画面を変えたときに前の画面表示が影のように残る現象です。</p>
 厳守	<p>画面の焼き付き防止のため、スクリーンセーバー機能を使用してください。 液晶パネルは、同じ画面を長時間表示していると画面の焼き付きを起こします。 スクリーンセーバー機能を使ったり、ディスプレイの電源設定をスタンバイ設定にして焼き付き防止を図ってください。</p>
 注意	<p>液晶ディスプレイの場合、次のようなことがありますので、ご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 寒い所で使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。 温度が上がると元に戻ります。 本製品は、表示する条件により微少な斑点およびムラが目立つこともありますが、故障ではありません。 液晶パネルは非常に高精度な技術を駆使し、有効画素数99.999628%以上として作られていますが、一部に表示不良画素(欠け、常時点灯など)が存在することがあります。
 厳守	<p>暗い部屋で使用するときは、液晶ディスプレイの輝度を上げすぎないでください。 100 lx以下の暗い環境下では、液晶ディスプレイ輝度を最大にしたり、またはそれに近い輝度で長時間使用しないでください。目を痛めて視力が低下する原因となることがあります。また、輝度調整を最小にしていますと見えにくい場合があります。</p>
 厳守	<p>液晶パネル面に直接クリーニング液を吹き付けしないでください。 クリーニング液の垂れによる故障や誤動作、故障の原因となることがあります。 (▶▶▶ P50：お手入れについて)</p> <div style="text-align: right;">  </div>
 発火	<p>年に一度はディスプレイ内部の掃除をするようにしてください。 装置内部にほこりがたまると火災の原因となることがあります。 内部の清掃・点検は、お買い求めの販売店に依頼してください。</p>
 厳守	<p>液晶ディスプレイを廃棄する場合 ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。(▶▶▶ P50：製品を廃棄するときは)</p>

⚠ 注意・警告表示について

重要

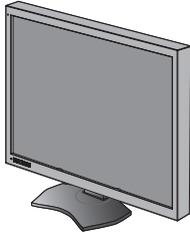
本製品の背面には、注意、警告ラベルが貼ってあります。
お使いになる前に、内容をよく読んで安全にお使いください。



付属品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、以下のものがすべて入っていることを確認してください。
万一足りないものや破損しているものがあつた場合は、おそれいりますが、販売店にご連絡ください。

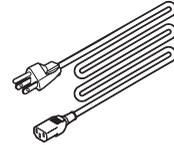
ディスプレイ本体



DisplayPortケーブル×2



ACコード



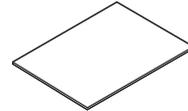
Dual-Link用DVIケーブル
(DVI - DVI)×2



USBケーブル



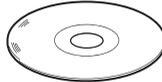
取扱説明書



保証書



ユーティリティディスク



注意 ディスプレイのスタンドの高さを調整する場合は、「ディスプレイの角度調整」を参照してください。(▶▶▶ P20)



包装ケースは、輸送などのために保存しておいてください。

— 準備 —

製品の特長

●30.0 型 6M LED バックライト搭載 高精細度カラー液晶パネルの採用

30.0 型(対角 76.8cm)6メガピクセル(3280×2048)の高精細度カラー液晶パネルの採用により、600万画素の高精細画像表示や3メガピクセルのディスプレイ画像を左右に2面表示するなど多彩な使い方ができます。また、LEDバックライト搭載により、省電力化を実現しています。

●DisplayPort入力

従来からのDVI入力に加え10bit入力に対応したDisplayPortを搭載しました。10bit入力時には約10億6433万色の表示を実現します。

●高輝度、ハイコントラスト

最大輝度800cd/m²(typ.)、コントラスト比1000:1(typ.)、視野角水平・垂直170度(コントラスト比≥10:1)(typ.)の600万画素高解像度液晶パネルを採用しています。

●色ムラ・輝度ムラ補正機能搭載

色の均一性、高度な輝度均一性を実現する色ムラ・輝度ムラ補正機能を搭載しました。画面の位置によって生じやすい色ムラや輝度ムラは、工場の調整工程で最適化されて出荷されます。

●輝度(明るさ)安定性

自動輝度安定化回路の搭載により、長期間にわたり安定した輝度を実現しています。

●キャリブレーション機能

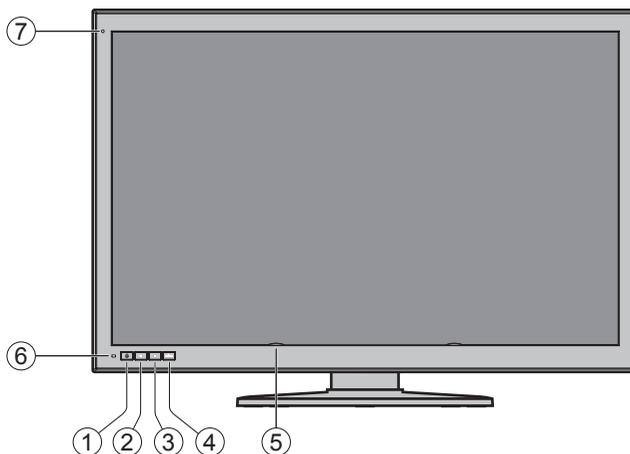
キャリブレーションセンサー(別売)とソフトウェアを用いて、本製品の輝度および階調特性を自動校正することが可能です。

●アーム備え付け機能

スタンド部分は取り外せますので、アーム利用など設置環境に応じた使い方ができます。(100mm×200mmおよび100mm×100mmの取付器具に対応)( P51)

各部の名称と働き

前面部



① 電源スイッチ

本製品の電源 ON/OFF をおこないます。

注意

電源の ON/OFF はボタンを長押ししておこないます。また、電源 ON/OFF は 10 秒以上間隔を空けておこなってください。

② マイナスボタン

OSD* のカーソル移動がおこなえます。

また、INPUT1 の入力ソース切り替えがおこなえます。(■▶ P23)

* OSDとは、オンスクリーンディスプレイの略で、画面上に文字・図形等の情報を表示する機能です。

③ プラスボタン

OSD のカーソル移動がおこなえます。

また、INPUT2 の入力ソース切り替えがおこなえます。(■▶ P23)

④ MENUボタン

MENU ボタンを長押しすると OSD の各種設定メニューが表示されます。

OSD 項目の選択や設定等がおこなえます。

また、入力ポートの切り替えがおこなえます。(■▶ P21)

⑤ 輝度センサー

本製品の輝度監視用のセンサーです。

⚠ 注意

輝度センサーには触れないでください。
輝度変動をおこしたり、故障の原因となります。

－ 準備 －

⑥ LEDインジケータ

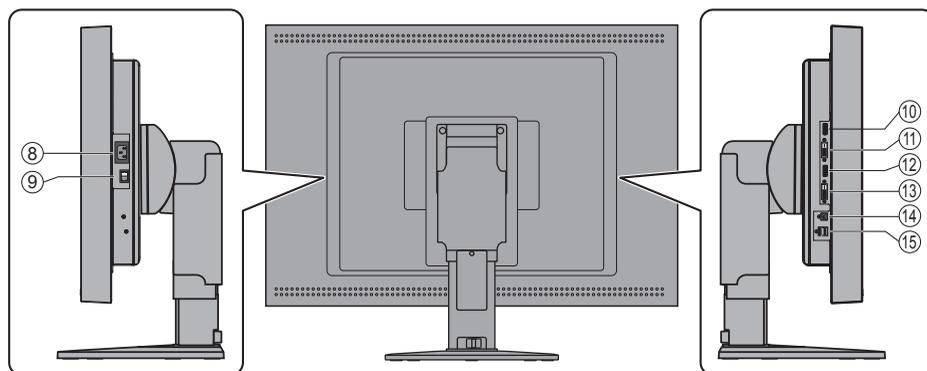
LEDインジケータと本製品の状態は次のような関係になっています。

No.	LED状態	電源状態	カラー液晶ディスプレイの状態
1	消灯	OFF	電源OFF
2	消灯	ON	ノーマル状態(輝度安定化状態)
3	緑点灯	ON	輝度安定化回路動作中
4	緑点滅	ON	キャリブレーション実行中 または、DICOM適合性試験実施中
5	オレンジ点灯	ON	パワーマネージメント状態
6	オレンジ点滅	ON	拡張パワーマネージメント動作中
7	赤点灯 または、赤点滅	ON	異常が検出された状態 (LEDが赤点灯または、赤点滅した場合は、お買上げのご購入元または修理受付/アフターサービス窓口にお問い合わせください。)

⑦ 周囲光センサー

使用環境における周囲光を測定するセンサーです。

背面部



⑧ ACインレット

付属の電源コードを接続します。(■▶▶ P16)

⑨ メイン電源スイッチ

本製品のメイン電源スイッチです。

⑩ INPUT1のディスプレイポート入力1_DisplayPort 1

付属のDisplayPortケーブルを接続します。(■▶▶ P16)

⑪ INPUT1のDVI入力1_DVI 1

付属のDual-Link用DVIケーブルを接続します。(■▶▶ P16)

⑫ INPUT2のディスプレイポート入力2_DisplayPort 2

付属のDisplayPortケーブルを接続します。(■▶▶ P16)

⑬ INPUT2のDVI入力2_DVI 2

付属のDual-Link用DVIケーブルを接続します。(■▶▶ P16)

⑭ USB UPストリームポート_UP

⑦ USB DOWNストリームポートにUSB機器を接続する場合に、付属のUSBケーブルを本機のUPストリームポートとコンピュータのUSBポートに接続します。(■▶▶ P46)

⑮ USB DOWNストリームポート_DOWN

USB DOWNストリームポートを2ポート装備しています。
消費電流1ポート500mA(最大)までのUSB機器が接続できます。



⑩～⑬への接続は、ご使用のシステム環境に合わせて接続をしてください。

接続のしかた

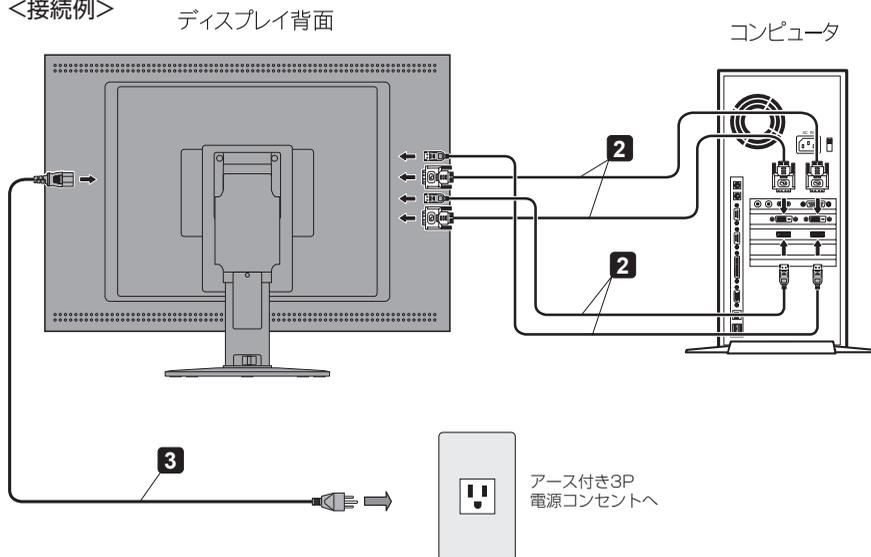
- 1** 接続するコンピュータの電源を OFF にします。
- 2** 付属の Dual-Link 用 DVI ケーブルを、本製品の「DVI」ポートとコンピュータの DVI 出力ポートに接続します。DisplayPort ケーブルで接続する場合は、付属の DisplayPort ケーブルで、本製品の「DisplayPort」ポートとコンピュータの DisplayPort 出力に接続します。

⚠ 注意

付属の Dual-Link 用 DVI ケーブルおよび DisplayPort ケーブル以外は使用しないでください。使用するケーブルによっては、画面異常となる場合があります。

- 3** 付属の電源コードを本製品の AC インレットとコンセントに接続します。
- 4** 本製品の電源を ON にして、コンピュータの電源を ON にします。

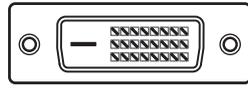
<接続例>



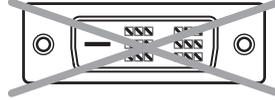
⚠ 注意

- 本製品は、IEC60601-1 認定機器に接続されることを意図しています。本製品がIEC60601-1 認定機器へ接続されていない場合は、IEC60601-1-1によるシステム評価が必要となります。付属の電源コード以外は使用しないでください。発煙発火等の異常時は、電源コードを抜いてください。そのために電源コードが抜きやすい場所に設置してください。

- 本製品のDVI入力に接続する場合は、必ず付属のDual-Link用DVIケーブルをお使いください。



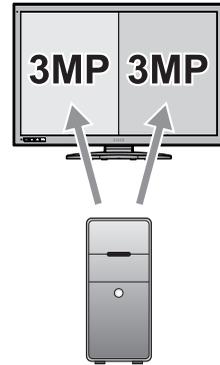
Dual-Link用



Single-Link用

- 1 台のPCから3MP×2画面表示する場合の注意事項

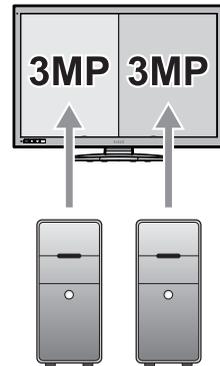
- ・ 1枚で2つ以上の同じ信号形式(DVIとDVIまたはDisplayPortとDisplayPort)が出力可能なグラフィックスカードを使用することを推奨します。
- ・ 1枚のグラフィックスカードでも、信号形式が異なるDVIとDisplayPortを混在して接続することは推奨できません。お使いのグラフィックスカードによっては、左画面と右画面で微妙に輝度や色が違って見えたり、フレームスキップ*を起こすことがあります。
- ・ 異なるグラフィックスカードからの出力を接続すると、同じ信号形式でもフレームスキップ*を起こすことがあります。
- ・ 関連するキャリブレーションソフトウェアを使用する場合は、設定条件をご確認ください。(ソフトウェアの取扱説明書参照)



PC 1 台で 3MP × 2 表示

- 2 台のPCから3MP×2画面表示場合の注意事項

- ・ この構成はあまり推奨できません。
- ・ フレームスキップ*を起こすことがあります。
- ・ 信号形式が異なるDVIとDisplayPortを混在して接続すると、お使いのグラフィックスカードによっては、左画面と右画面で微妙に輝度や色が違って見えることがあります。
- ・ この構成の時は関連するキャリブレーションソフトウェアの適用範囲外となります。(ソフトウェアの取扱説明書参照)



PC2 台で 3MP × 2 表示

* フレームスキップ:カーソルやウィンドウの高速移動や動画表示で生じる左右画面の描画差

⚠ 注意

● 3MP×2面または6MP以外の解像度を表示する場合の注意事項

表示例)



XGA+3MP 表示



XGA+VGA 表示



XGA 表示

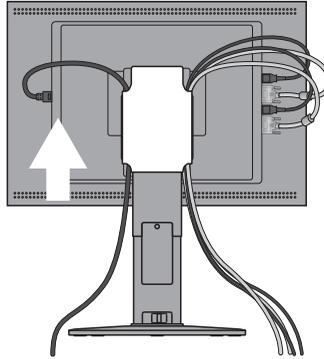
- ・ 3MP×2/6MP以外でいくつかサポートしている解像度がありますが、表示性能は保証されていません。
- ・ フレームスキップ*を起こすことがあります。
- ・ 信号形式が異なるDVIとDisplayPortを混在して接続すると、お使いのグラフィックスカードによっては、左画面と右画面で微妙に輝度や色が違って見えることがあります。
- ・ この構成の時は、関連するキャリブレーションソフトウェアの適用範囲外となります。(ソフトウェアの取扱説明書参照)

* フレームスキップ: カーソルやウィンドウの高速移動や動画表示で生じる左右画面の描画差

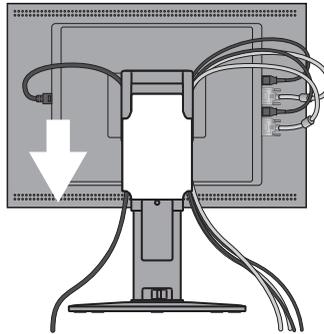
ケーブルカバーの取り扱い

ケーブルの配線はスタンド内部を通して見映えよくまとめることができます。

- 1** ケーブルカバーを上側にスライドさせ、ケーブルをフックにはめ込みます。



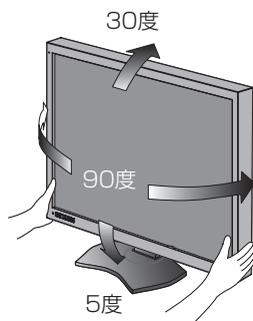
- 2** ケーブルカバーを下側にスライドさせます。



— 導入 —

ディスプレイの角度調整

画面の角度調整は、左右方向は90度、下向きに5度、上向きに30度の調整ができます。
調整は下の図のように液晶ディスプレイを両手で持ち、ゆっくり動かしてください。



注意 角度および高さ調節時に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。

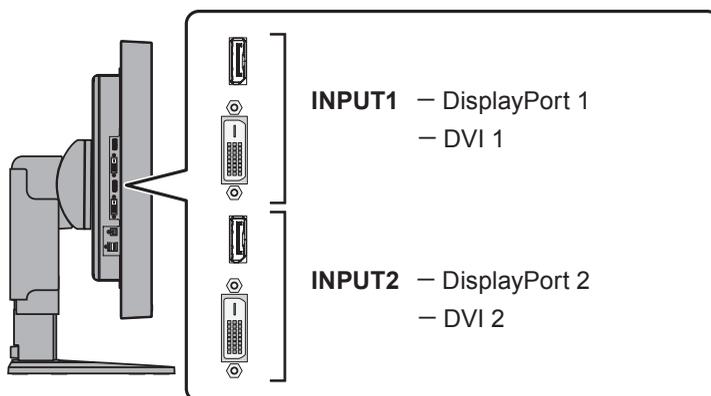
表示画面を切り替える

本製品前面のボタン操作により表示画面を切り替えることができます。
表示画面の切替は入力ポートと入力ソースの切替があります。

入力ポートの切替

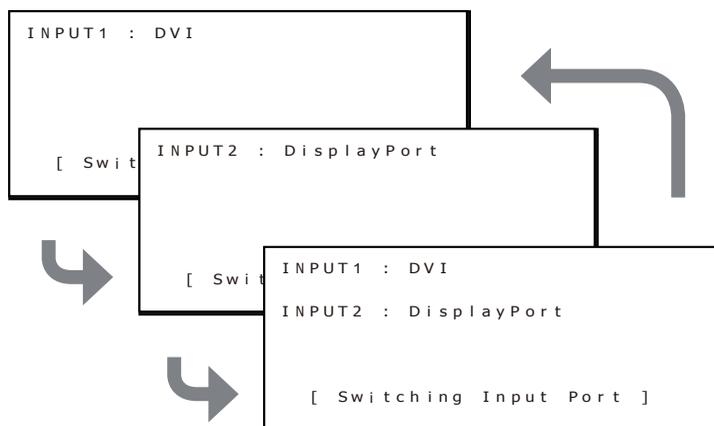
入力ポートはINPUT1、INPUT2に分かれていて、それぞれにDisplayPortとDVIの入力があります。
本書では名称を次のように使い分けています。

入力ポート	入力ソース	
INPUT 1	DisplayPort 1	DVI 1
INPUT 2	DisplayPort 2	DVI 2



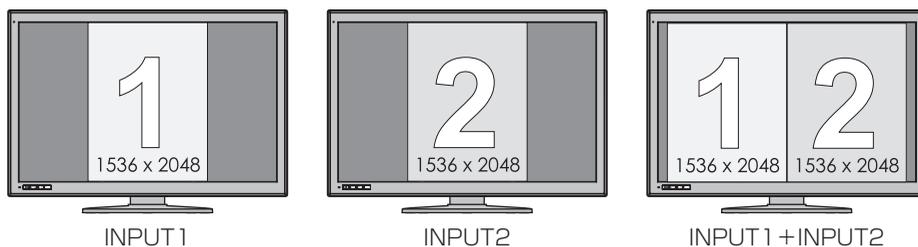
ディスプレイモニタ側面の入力ポート

画面にOSDが表示されていない状態でMENUボタン()を押すと画面に表示される入力ポートをINPUT1、INPUT2、INPUT1 + INPUT2の順番に切り替えることができます。

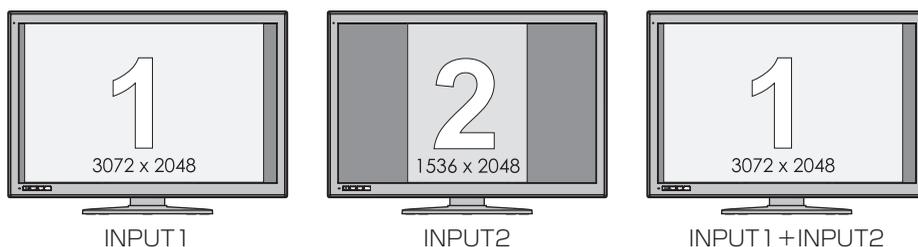


— 導入 —

下図はINPUT1、INPUT2の両方の解像度をQXGA(1536×2048)とした場合の例です。MENUボタン()を押してポートを切り替えると、INPUT1 + INPUT2を選択した場合は、両方の入力画面が表示されます。



下図はINPUT1が解像度3072×2048、INPUT2が解像度をQXGA(1536×2048)とした場合の例です。MENUボタン()を押してポートを切り替えると、INPUT1 + INPUT2を選択した場合は、液晶パネルの表示画素数を超過してしまい一度に両方の画面表示がおこなえないため、INPUT1が優先されてINPUT1(解像度3072×2048)のみが表示されます。



入力ソースの切替

入力ポートINPUT1 およびINPUT2の入力ソースをそれぞれ切り替えることができます。

入力ポート	入力ソース	
INPUT 1	DisplayPort 1	DVI 1
INPUT 2	DisplayPort 2	DVI 2

本操作は、ダイレクトOSDメニュー設定のENABLE FUNCTIONSの設定が「Enable Switching Input Source」または「Enable Both Functions」である場合に有効となります。

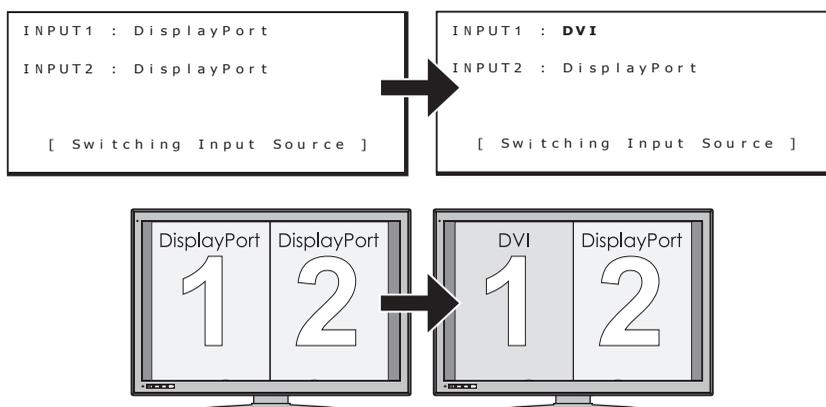
入力ソースの切り替えは、INPUT SOURCE BUTTON MODEの設定により操作が異なります。

● INPUT SOURCE BUTTON MODEが「Separate Mode」設定の場合

Separate Mode はINPUT1 およびINPUT2の入力ソースを別々に切り替えることができます。

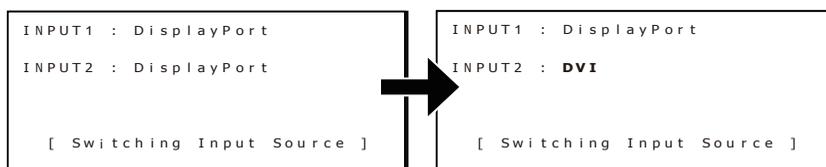
画面にOSDが表示されていない状態で本製品前面のマイナスボタン()を押すとINPUT1の入力ソースが切り替わります。

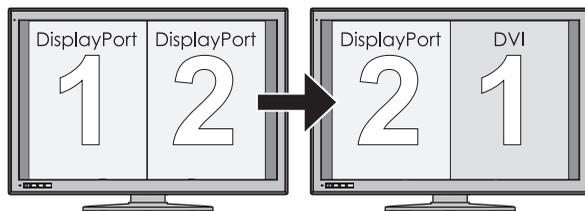
下図はINPUT1、INPUT2の両方にDisplayPortが入力されていて、INPUT1をDVI入力に切り替えた場合の例です。



画面にOSDが表示されていない状態で本製品前面のプラスボタン()を押すとINPUT2の入力ソースが切り替わります。

下図はINPUT1、INPUT2の両方にDisplayPortが入力されていて、INPUT2をDVI入力に切り替えた場合の例です。

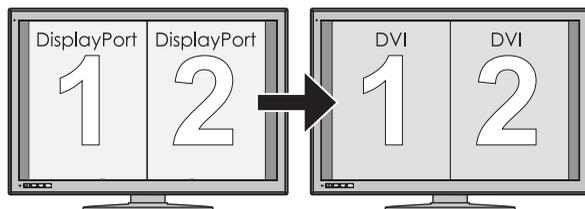
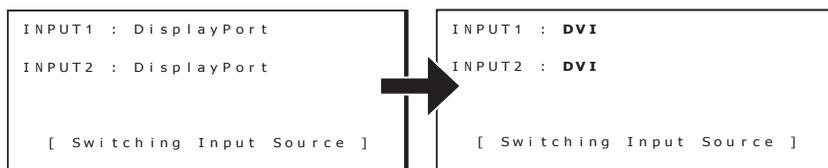




INPUT1とINPUT2に異なる信号(DVIとDisplayPort)を混在させて入力することを推奨しません。
左画面と右画面で輝度や色に差が生じたり、フレームスキップを起こすことがあります。
(「フレームスキップ」▶▶ P17)

● INPUT SOURCE BUTTON MODEが「Concurrent Mode」設定の場合

Concurrent ModeはINPUT1 およびINPUT2の入力ソースを同時に切り替えることができます。画面にOSDが表示されていない状態で本製品前面のマイナスボタン(◻)またはプラスボタン(◻)を押すとINPUT1 およびINPUT2の入力ソースが同時に切り替わります。下図はINPUT1、INPUT2の両方にDisplayPortが入力されていて、INPUT1 およびINPUT2をDVI入力に切り替えた場合の例です。

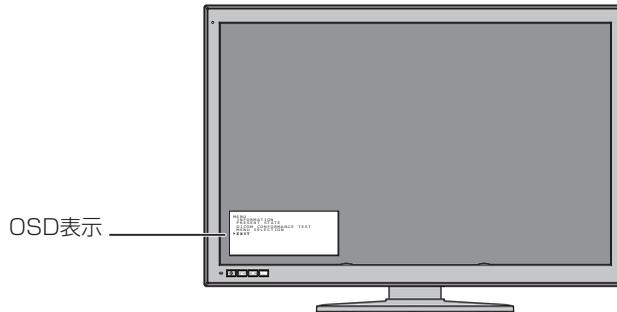


ディスプレイ情報を表示させる

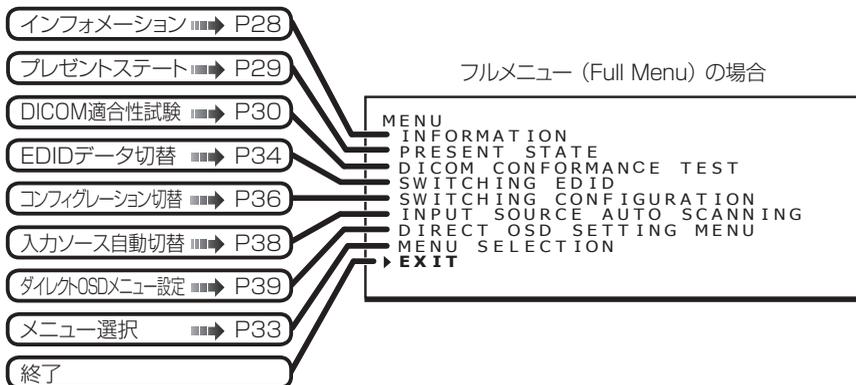
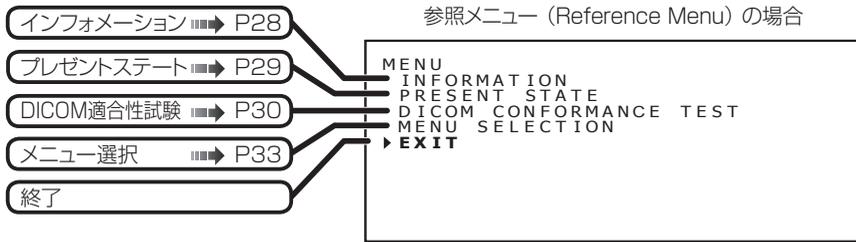
本製品前面のボタン操作によりディスプレイ情報を確認したり、設定変更をすることができます。

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押しすると下記のようなOSDメニューが表示されます。



各ディスプレイ情報等は、矢印のページを参照してください。





OSDメニューは「参照メニュー(Reference Menu)」と「フルメニュー(Full Menu)の2つの表示が選択できます。工場出荷設定では「参照メニュー(Reference Menu)」に設定されています。

2

OSDメニューの終了処理

本製品前面のプラスボタン () またはマイナスボタン () で▶カーソルを動かし、OSDからEXITを選択します。MENUボタン () を押してOSDメニューを終了します。



OSDは終了処理をおこなわなくても約15秒後に自動的に消えます。

OSD設定機能一覧

OSD フルメニューの階層状態と機能概要を示します。
このうち ■ ハイライト表示されている部分が、参照メニューの表示となります。

- **INFORMATION** ディスプレイ情報表示
- **PRESENT STATE** 輝度ガンマ情報表示
- **DICOM CONFORMANCE TEST** DICOM適合試験
 - └ **START TESTING**
 - └ **Yes** DICOM適合試験を実施する
 - └ **CANCEL TESTING** DICOM適合試験中の中止操作
 - └ **Yes** 試験を中止する
 - └ **No *** 試験を続行する
 - └ **No *** DICOM適合試験をおこなわない
- **SWITCHING EDID** EDID データ切替
 - └ **6MP+(3MP+x2) *** 液晶パネルのフルピクセル表示
 - └ **6MP(3MPx2)** 既存の 3 メガ QXGA をベースとする表示
- **SWITCHING CONFIGRATION** コンフィグレーション切替
 - └ **CONFIG 1 *** 設定 1 (400 cd/m², DICOM GSDF)
 - └ **CONFIG 2** 設定 2 (400 cd/m², DICOM GSDF)
 - └ **CONFIG 3** 設定 3 (300 cd/m², DICOM GSDF)
- **INPUT SOURCE AUTO SCANNING** 入力ソースの自動切替設定
 - └ **Disable** 自動切替をしない
 - └ **Enable *** 自動切替をおこなう
- **DIRECT OSD SETTING MENU** ダイレクト OSD メニュー設定
 - └ **ENABLE FUNCTIONS** 有効とする機能設定
 - └ **Disable *** 入力ソース切替 / 入力ポート切替の両方無効
 - └ **Enable Switching Input Source** 入力ソース切替のみ有効
 - └ **Enable Switching Input Port** 入力ポート切替のみ有効
 - └ **Enable Both Functions** 入力ソース切替 / 入力ポート切替の両方有効
 - └ **INPUT SOURCE BUTTON MODE** 入力ソースの切替モード選択
 - └ **Separate Mode *** セパレートモード選択
 - └ **Concurrent Mode** コンカレントモード選択
 - └ **EXIT *** 終了
- **MENU SELECTION** OSD メニュー選択
 - └ **Reference Menu *** 参照メニュー
 - └ **Full Menu** フルメニュー
- **EXIT *** 終了

*印の付いた項目がデフォルトで選択されています。

インフォメーションを表示させる

OSDメニューからインフォメーション情報を表示させてディスプレイ情報を確認することができます。

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからINFORMATIONを選択します。

参照メニュー (Reference Menu) の場合

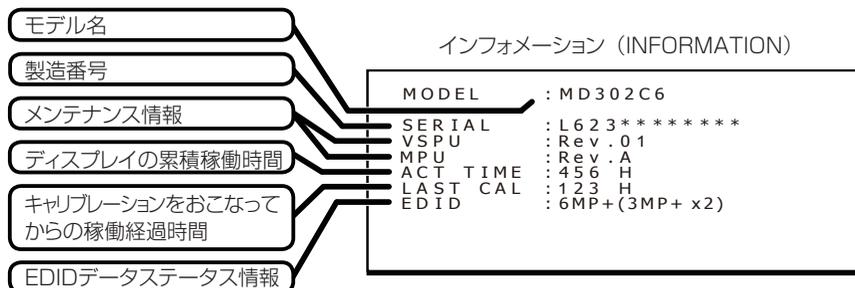
```
MENU
▶ INFORMATION
  PRESENT STATE
  DICOM CONFORMANCE TEST
  MENU SELECTION
  EXIT
```

フルメニュー (Full Menu) の場合

```
MENU
▶ INFORMATION
  PRESENT STATE
  DICOM CONFORMANCE TEST
  SWITCHING EDID
  SWITCHING CONFIGURATION
  INPUT SOURCE AUTO SCANNING
  DIRECT OSD SETTING MENU
  MENU SELECTION
  EXIT
```

2 インフォメーションの表示

MENUボタン()を押してインフォメーションを表示させます。



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

プレゼントステートを表示させる

OSDメニューからプレゼントステート情報を表示させてディスプレイの現在の設定状況を確認することができます。

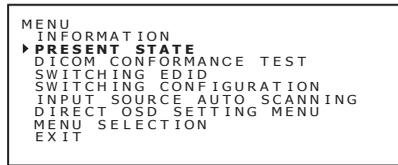
1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからPRESENT STATEを選択します。

参照メニュー (Reference Menu) の場合

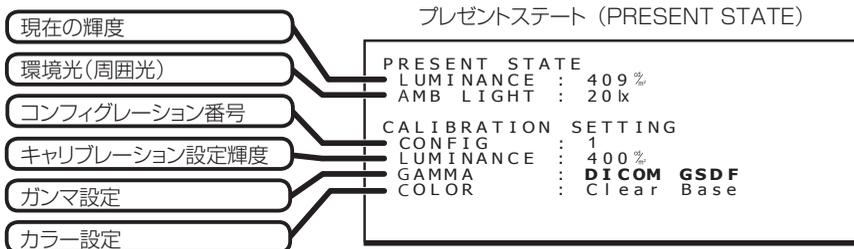


フルメニュー (Full Menu) の場合



2 プレゼントステートの表示

MENUボタン()を押してプレゼントステートを表示させます。



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

DICOM適合性試験の実施方法

注意 この機能は、本製品のガンマ特性が DICOMGSDF でキャリブレーションされているときのみ有効となります。DICOM 適合性試験をおこなうことにより、本製品が DICOM に適合しているかどうか表示特性を測定し、確認することができます。DICOM 適合性試験は、ディスプレイの電源を入れて液晶パネルのバックライトが点灯してから 60 分以上経過した、輝度が安定した状態でおこなうことをお勧めします。60 分未満の場合は、ディスプレイの輝度が安定した状態にならないため、測定誤差が大きくなる恐れがあります。



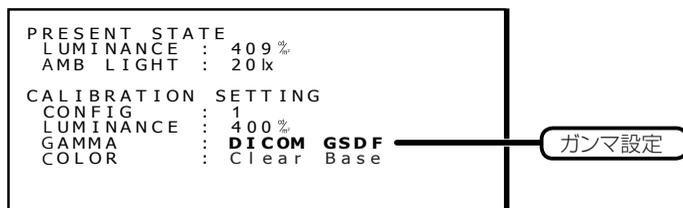
コンピュータの電源設定により、60分未満でパワーマネージメント状態に移行してしまう場合は、電源設定を変更する方法以外に次項の「出画しないでOSDを操作する方法」(■■■▶ P43)を利用できます。

DICOM適合性試験の実施手順

1 ガンマ設定の確認

P28「プレゼントステートを表示させる」の手順でプレゼントステート情報を表示します。ガンマ設定が「DICOMGSDF」になっていることを確認します。

プレゼントステート (PRESENT STATE)



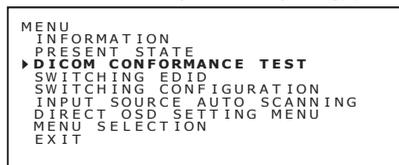
2 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからDICOM CONFORMANCE TESTを選択します。

参照メニュー (Reference Menu) の場合



フルメニュー (Full Menu) の場合



3 DICOM 適合性試験の表示

MENUボタン()を押してDICOM適合性試験を表示させます。

DICOM 適合性試験(DICOM Conformance Test) DICOM 適合性試験(DICOM Conformance Test)
ガンマDICOM GSDFでキャリブレーション済みの場合 ガンマ2.2等でキャリブレーション済みの場合

```
DICOM CONFORMANCE TEST
RESULT          : ---
MAX DEVIATION   : ---
LUMINANCE       : Stable
ELAPSED TIME    : Over 240min

START TESTING   Yes
                ▶No
```

```
DICOM CONFORMANCE TEST
RESULT          : ---
MAX DEVIATION   : ---
LUMINANCE       : Stable
ELAPSED TIME    : Over 240min
```

↑
ガンマがDICOM GSDF 設定されていない場合は「START TESTING」が表示されません。



「START TESTING」が表示されない場合は、「SWITCHING CONFIGURATION」からガンマ設定がDICOM GSDFのコンフィグレーションを選択してください。( P36)

4 DICOM 適合性試験の実施

プラスボタン()またはマイナスボタン()でOSDのSTART TESTINGからYesを選択します。(Yesを選択すると直ちにDICOM適合性試験を開始します。)

試験実行中の表示

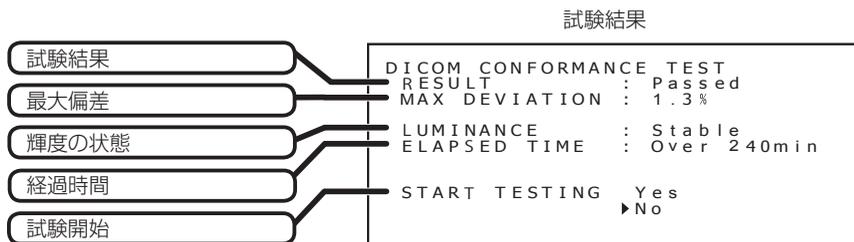
```
DICOM CONFORMANCE TEST
Executing...

CANCEL TESTING   Yes
                 ▶No
```

測定が完了するまで30秒から1分程度かかります。
測定を中断する場合は、プラスボタン()またはマイナスボタン()でOSDのCANCEL TESTINGからYesを選択します。

5 試験結果の表示

測定が完了すると試験結果が表示されます。



試験結果の表記は次のような内訳となっています。

RESULT	表示内容
Passed	最大偏差 ≤ 10%
Failed	最大偏差 > 10%
Canceled	測定を中断(キャンセル)した場合
Passed(!)	推奨条件(バックライト点灯時間60分以上で輝度が安定)を満たしていなかった場合に(!)を表示します。また、輝度が安定していない場合、開始時に(!)が表示されます。
Failed(!)	

LUMINANCE	表示内容
Stable	輝度安定状態
Unstable	輝度が不安定な状態

注意 連続して 30 秒以内に試験をおこなう場合は、LUMINANCE が Unstable になり、RESULT は (!) 表示になります。

この結果は次回の試験またはキャリブレーションがおこなわれるまで保持されます。推奨条件での最大偏差が規格に適合しない場合は、外部輝度センサーを用いたキャリブレーションをおこなってください。



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

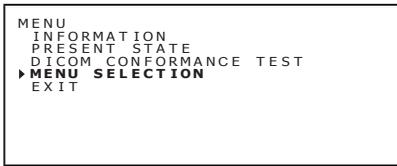
OSDメニューを切り替える

OSDメニューからメニュー選択 (MENU SELECTION) を選択し、参照メニュー (Reference Menu) とフルメニュー (Full Menu) を切り替えることができます。フルメニューからは各種設定変更がおこなえます。

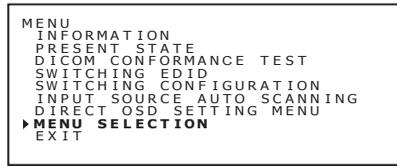
1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからMENU SELECTIONを選択します。

参照メニュー (Reference Menu) の場合



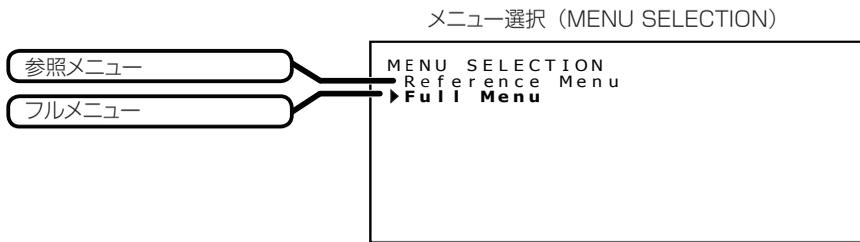
フルメニュー (Full Menu) の場合



2 OSDメニューの切り替え

MENUボタン()を押してメニュー選択 (MENU SELECTION) を表示させます。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、任意のOSDメニューを選択します。

MENUボタン()を押してOSDメニューを切り替えます。



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

EDIDデータを切り替える

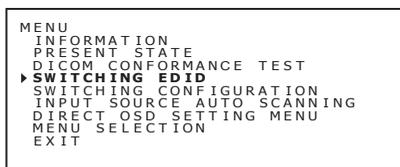
OSDフルメニュー(Full Menu)からSWITCHING EDIDを選択し、表示解像度の切り替えがおこなえます。

「液晶パネルのフルピクセル使用する表示モード」と「既存の3メガピクセルの置き換えとしてQXGAをベースとする表示モード」の選択がおこなえます。

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからSWITCHING EDIDを選択します。

フルメニュー (Full Menu)

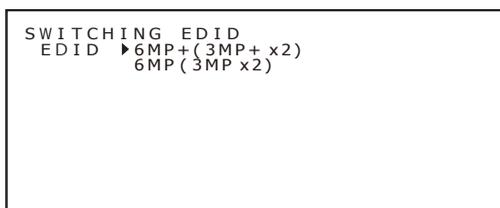


2 EDIDデータの切り替え

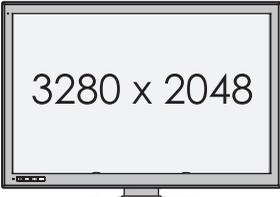
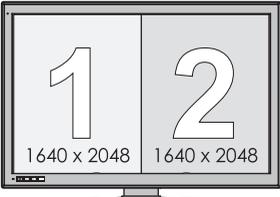
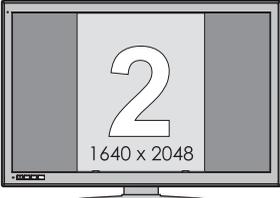
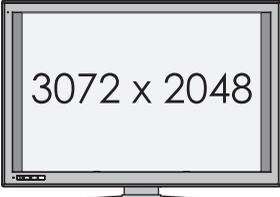
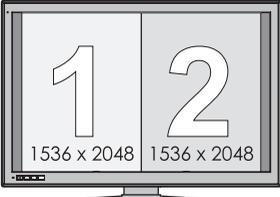
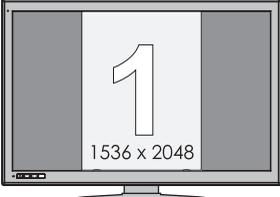
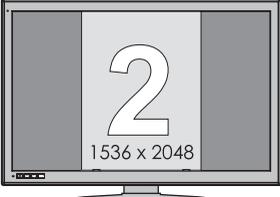
MENUボタン()を押してEDIDデータ切替(SWITCHING EDID)を表示させます。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、任意の表示解像度を選択します。選択できる解像度は次ページを参照してください。

MENUボタン()を押してEDIDデータを切り替えます。

EDIDデータ切替 (SWITCHING EDID)



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

EDID	内 容
<p>6MP+ (3MP+ x2)</p>	<p>液晶パネルのフルピクセルを使用する表示モード。 3280×2048および1640×2048表示がおこなえます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3280 x 2048</p> <p>フルピクセルの1画面表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1 2 1640 x 2048 1640 x 2048</p> <p>1640×2048を2画面表示</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 1640 x 2048</p> <p>1640×2048表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 1640 x 2048</p> <p>1640×2048表示</p> </div> </div>
<p>6MP (3MP x2)</p>	<p>既存の3メガピクセルの置き換えとして、QXGAをベースとする表示モード。 3072×2048および1536×2048表示がおこなえます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3072 x 2048</p> <p>3072×2048の1画面表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1 2 1536 x 2048 1536 x 2048</p> <p>QXGAを2画面表示</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 1536 x 2048</p> <p>QXGA表示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2 1536 x 2048</p> <p>QXGA表示</p> </div> </div>

コンフィグレーションデータの切替方法

本製品は、キャリブレーション設定された画面状態(輝度・ガンマ・色温度)をコンフィグレーションデータとして最大3つまでディスプレイに保存することができます。コンフィグレーションデータの切り替えをおこなうには、OSDでCONFIG切替(SWITCHING CONFIGURATION)を表示して切り替える必要があります。工場出荷状態ではあらかじめ下記3つが設定されており、デフォルトは「1」に設定されています。コンフィグレーションデータの切り替えは、下記手順でおこなってください。

コンフィグレーション 設定番号	輝度(cd/m ²)			色温度	ガンマ
	最大	最小	周囲光分		
1	400	0.8	0.0	Clear Base(7500K)	DICOM GSDF
2	400	0.8	0.0	6500K	DICOM GSDF
3	300	0.8	0.0	6500K	DICOM GSDF

コンフィグレーションデータの切替手順

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからSWITCHING CONFIGURATIONを選択します。

コンフィグレーション切替 (Switching Configuration)

```

MENU
INFORMATION
PRESENT STATE
DICOM CONFORMANCE TEST
SWITCHING EDID
▶ SWITCHING CONFIGURATION
INPUT SOURCE AUTO SCANNING
DIRECT OSD SETTING MENU
MENU SELECTION
EXIT
    
```

2 コンフィグレーションデータの切り替え

MENUボタン()を押してコンフィグレーションデータ切替(SWITCHING CONFIGURATION)を表示させます。

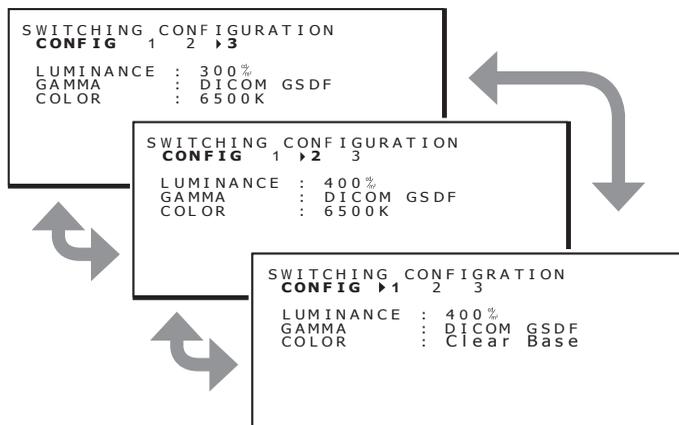
コンフィグレーション切替表示

```

SWITCHING CONFIGURATION
CONFIG ▶ 1 2 3

LUMINANCE : 400%
GAMMA     : DICOM GSDF
COLOR     : Clear Base
    
```

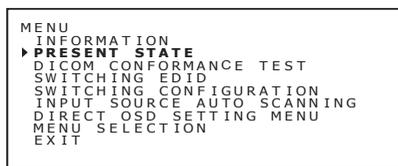
プラスボタン(+)またはマイナスボタン(-)で「CONFIG」欄の▶カーソルを動かし、設定したいコンフィグレーション設定番号を選択します。



3 コンフィグレーションデータ切替確認

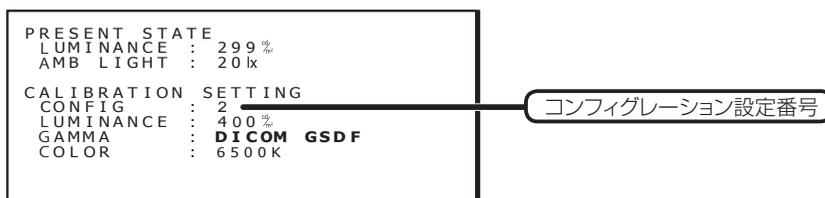
コンフィグレーション設定番号を選択したら、MENUボタン(MENU)を押して手順1のフルメニュー画面に戻ります。プラスボタン(+)またはマイナスボタン(-)で▶カーソルを動かし、OSDからPRESENT STATEを選択します。

フルメニュー (Full Menu)



MENUボタン(MENU)を押してプレゼントステート(PRESENT STATE)を表示させます。選択したコンフィグレーション設定番号が表示されます。下図はコンフィグレーション設定番号2に設定変更した場合のものです。

プレゼントステート



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

入力ソースの自動切替設定

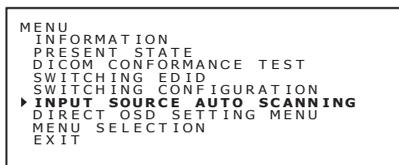
入力ソースを自動検出するオートスキャンの有無を設定できます。切替は、下記手順でおこなってください。

オートスキャンの設定方法

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからINPUT SOURCE AUTO SCANNINGを選択します。

自動切替 (Input Source Auto Scanning) 選択



2 自動切替

MENUボタン()を押して入力ソース自動切替(INPUT SOURCE AUTO SCANNING)を表示させます。

自動切替表示



プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、任意の設定を選択します。

Input Source Auto Scanning	内 容
Disable	オートスキャン機能を無効にします。
Enable	オートスキャン機能を有効にします。

※ デフォルトは「Enable」設定になっています。

MENUボタン()を押して手順 **1** のフルメニュー画面に戻ります。



OSDは約15秒後に自動的に消えます。

ダイレクトOSDメニュー設定

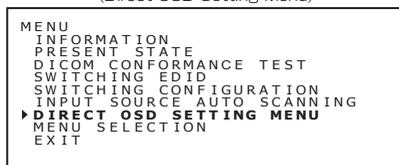
ダイレクトOSDメニュー設定では、有効とする機能設定や入力ソースの切替モードを設定できます。切替は、下記手順でおこなってください。

有効機能の設定

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからDIRECT OSDSETTING MENUを選択します。

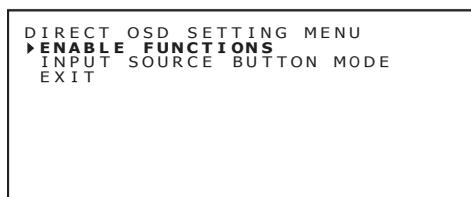
ダイレクトOSDメニュー設定選択
(Direct OSD Setting Menu)



2 ダイレクトOSDメニュー設定

MENUボタン()を押してダイレクトOSDメニュー設定(DIRECT OSDSETTING MENU)を表示させます。

ダイレクトOSDメニュー設定の表示



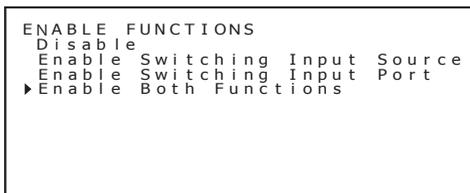
プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、ENABLE FUNCTIONSを選択します。

Direct OSD Setting Menu	内 容
ENABLE FUNCTIONS	有効にする機能設定がおこなえます。
INPUT SOURCE BUTTON MODE	入力ソースの切替モードを選択します。
EXIT	終了

3 有効機能設定

MENU ボタン () を押して有効機能設定 (ENABLE FUNCTIONS) を表示させます。

有効機能設定 (ENABLE FUNCTIONS)



プラスボタン () またはマイナスボタン () で ▶カーソルを動かし、ENABLE FUNCTIONS を選択します。

Enable Functions	内 容
Disable	入力ソースと入力ポート切替の両方とも無効にします。 (切替操作をおこなうと LOCKED 表示されます。) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre> INPUT1 : DVI INPUT2 : DisplayPort ** LOCKED ** [Switching Input Source] </pre> </div>
Enable Switching Input Source	入力ソースの切替のみを有効にします。 (入力ポートの切替操作をおこなうと LOCKED 表示されます。)
Enable Switching Input Port	入力ポートの切替のみを有効にします。 (入力ソースの切替操作をおこなうと LOCKED 表示されます。)
Enable Both Functions	入力ソースの切替と入力ポートの切替の両方とも有効にします。

※ デフォルトは「Disable」設定になっています。

MENU ボタン () を押して手順 **2** のダイレクト OSD メニュー設定画面に戻ります。



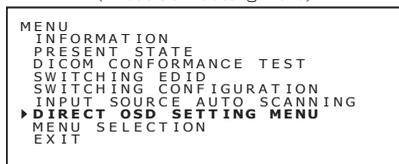
OSDは約15秒後に自動的に消えます。

入力ソースの切替モード選択

1 OSDメニューの表示

本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。
 プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、OSDからDIRECT OSD SETTING MENUを選択します。

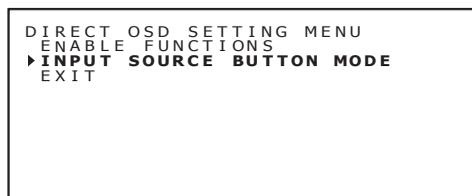
ダイレクトOSDメニュー設定選択
 (Direct OSD Setting Menu)



2 ダイレクトOSDメニュー設定

MENUボタン()を押してダイレクトOSDメニュー設定(DIRECT OSD SETTING MENU)を表示させます。

ダイレクトOSDメニュー設定の表示



プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、INPUT SOURCE BUTTON MODEを選択します。

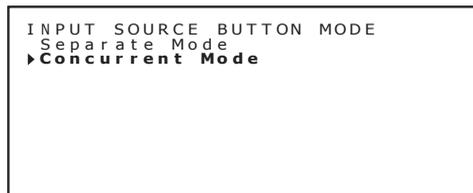
Direct OSD Setting Menu	内 容
ENABLE FUNCTIONS	有効にする機能設定がおこなえます。
INPUT SOURCE BUTTON MODE	入力ソースの切替モードを選択します。
EXIT	終了

— 導入 —

入力ソースの切替モード設定

MENUボタン()を押して有効機能設定(INPUT SOURCE BUTTON MODE)を表示させます。

入力ソース号の切替モード設定
(INPUT SOURCE BUTTON MODE)

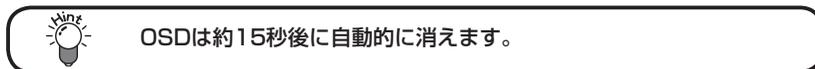


プラスボタン()またはマイナスボタン()で▶カーソルを動かし、任意の設定を選択します。

INPUT SOURCE BUTTON MODE	内 容
Separate Mode	プラスボタン()またはマイナスボタン()で入力ソースを切り替える際に、INPUT 1とINPUT 2の入力ソースを別々に切り替えます。
Concurrent Mode	プラスボタン()またはマイナスボタン()で入力ソースを切り替える際に、INPUT 1とINPUT 2の入力ソースを一緒に切り替えます。

※ デフォルトは「Separate Mode」設定になっています。

MENUボタン()を押して手順 **2** のダイレクトOSDメニュー設定画面に戻ります。

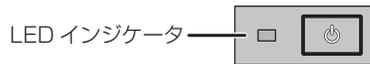


出画しないでOSDを操作する方法

信号入力がない場合、通常はパワーマネージメント状態に移行してしまい、OSDは表示されません。本製品はパワーマネージメント状態から一時的に電源ONのノーマル状態にすることができ、OSDを表示させて各種設定変更やDICOM適合性試験がおこなえます。OSDの表示は、次の方法でおこなってください。

OSDの表示方法

- 1 パワーマネージメント状態（電源スイッチのLEDインジケータがオレンジ点灯）で本製品前面のMENUボタン()を約2秒間長押ししてOSDメニューを表示します。



- 2 パワースwitchのLEDインジケータが緑点灯となり、一時的に（最長で3時間）電源ONのノーマル状態になります。同時にOSDメニューが表示されます。

参照メニュー（Reference Menu）の場合

```
MENU
INFORMATION
PRESENT STATE
DICOM CONFORMANCE TEST
MENU SELECTION
▶ EXIT
```

フルメニュー（Full Menu）の場合

```
MENU
INFORMATION
PRESENT STATE
DICOM CONFORMANCE TEST
SWITCHING EDID
SWITCHING CONFIGURATION
INPUT SOURCE AUTO SCANNING
DIRECT OSD SETTING MENU
MENU SELECTION
▶ EXIT
```

- 3 OSD操作で次の操作やDICOM適合性試験がおこなえます。

OSDが参照メニューの場合は、DICOM適合性試験を除き、フルメニューに切り替えて操作してください。

- DICOM適合性試験(DICOMCONFORMANCE TEST)
（「DICOM適合性試験の実施方法」 ■■■▶ P30）
- EDIDデータ切替(SWITCHING EDID)
（「EDIDデータを切り替える」 ■■■▶ P34）
- コンフィグレーション切替(SWITCHING CONFIGURATION)
（「コンフィグレーションデータの切替方法」 ■■■▶ P36）
- 入力ソース切替(SWITCHING INPUT SOURCE)
（「入力ソースの自動切替設定」 ■■■▶ P38）
- ダイレクトOSDメニュー設定(DIRECT OSD SETTING MENU)
（「ダイレクトOSDメニュー設定」 ■■■▶ P39）
- メニュー選択(MENU SELECTION)
（「OSDメニューを切り替える」 ■■■▶ P33）



前述の操作で、本製品が電源ON のノーマル状態になるのは一時的なものです。この状態は次の条件で解除されます。

- ①約3時間経過
- ②電源オフ
- ③DICOM適合性試験の実施後

参 考

パワーマネジメント機能

パワーマネジメント機能とは？

節電のため、入力信号の変化を検出して画面を消し、消費電力を低減させる機能です。

設定について

パワーマネジメントの設定およびモード移行の時間設定については、ご使用のコンピュータの取扱説明書等をご覧ください。

デジタル入力でのご利用

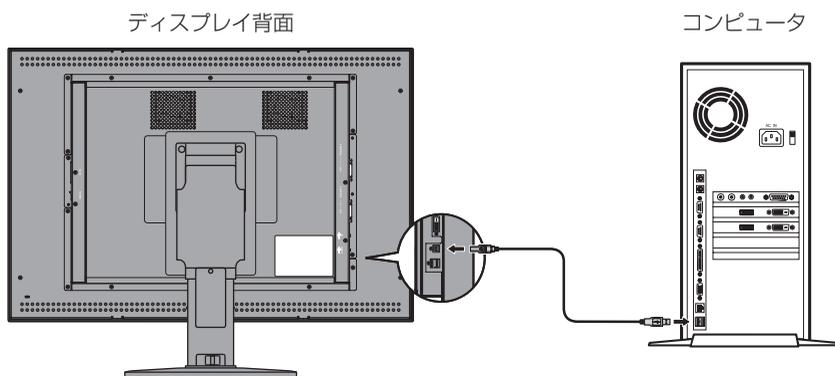
本製品の入力信号は、デジタル入力となっています。本信号の場合、接続されているシステムの起動および終了の過程、解像度切り替え時にノイズ等が表示されることがあります。これは、システムのグラフィックスカードが解像度切り替えで発生するノイズです。本製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

また、使用中に信号ケーブルを抜き差しされますと、システムのグラフィックスカード故障の原因となります。ケーブルの抜き差しは必ずシステムの電源をOFFにしてからおこなってください。

USBハブを使うときは

本製品は、USB 2.0規格準拠のハブを搭載しています。付属のUSBケーブルをUSB対応のコンピュータ、または他のUSBハブに接続することで、本機のUSBハブにUSB周辺機器を接続することができます。

- 1** 本製品とコンピュータを付属のDVIケーブルまたはDisplayPortケーブルで接続し、コンピュータを起動します。(■■■▶ P16)
- 2** 付属のUSBケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとコンピュータ(または他のUSBハブ)のダウンストリームポートに接続します。自動的にUSB機能がセットアップされます。



注意 USBハブに接続するすべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
ご使用のコンピュータ、OSおよび周辺機器によって、動作しない場合があります。

また、付属のUSBケーブルを使用して次のようなことがおこなえます。

- キャリブレーションをおこなう
- 複数台のディスプレイを連続でキャリブレーションする

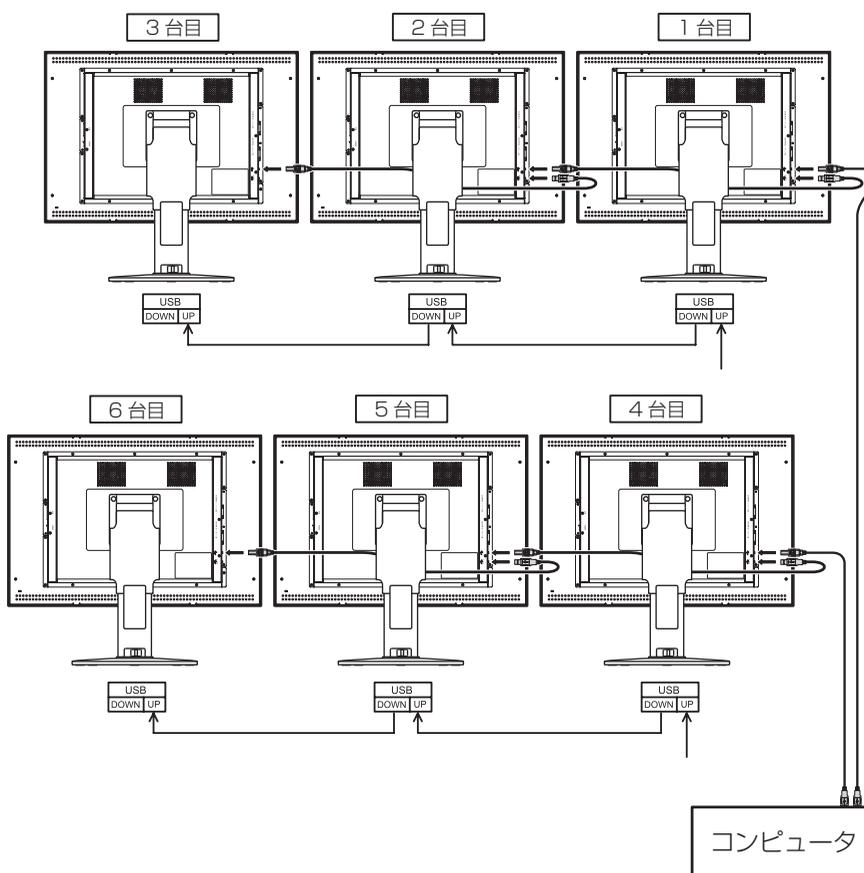
● キャリブレーションをおこなう場合

上図のように付属のUSBケーブルを、本製品の「UP」ストリームポートとコンピュータのUSBダウンストリームポートに接続します。(キャリブレーションの方法については、キャリブレーションソフトウェアの取扱説明書を参照してください。)

● 複数台のディスプレイを連続でキャリブレーションする場合

本製品をUSBケーブルでチェーン接続すると6台までの接続が可能です。

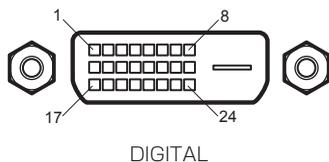
- 1 コンピュータのUSBダウンストリームポートと1台目のディスプレイのUSB「UP」ストリームポートを付属のUSBケーブルで接続します。
- 2 1台目のUSB「DOWN」ストリームポートと2台目のディスプレイのUSB「UP」ストリームポートを付属のUSBケーブルで接続します。
- 3 以下同様に2台目と3台目、4台目と5台目というように接続します。



注意 コンピュータの一つのUSB DOWN ストリームポートからのチェーン接続は、最大5台までです。

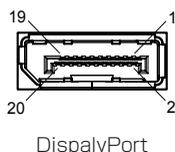
入力信号

DVIコネクタ 24ピン(メス)



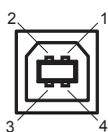
No.	信号	No.	信号
1	TMDS Data2-	13	TMDS Data3+
2	TMDS Data2+	14	+5V Power
3	TMDS Data2/4 Shield	15	Ground
4	TMDS Data4-	16	Hot Plug Detect
5	TMDS Data4+	17	TMDS Data0-
6	DDC Clock	18	TMDS Data0+
7	DDC Data	19	TMDS Data0/5 Shield
8		20	TMDS Data5-
9	TMDS Data1-	21	TMDS Data5+
10	TMDS Data1+	22	TMDS Clock Shield
11	TMDS Data1/3 Shield	23	TMDS Clock +
12	TMDS Data3-	24	TMDS Clock -

DisplayPortコネクタ(リセプタクル)



No.	信号	No.	信号
1	ML_Lane 3(n)	2	GND
3	ML_Lane 3(p)	4	ML_Lane 2(n)
5	GND	6	ML_Lane 2(p)
7	ML_Lane 1(n)	8	GND
9	ML_Lane 1(p)	10	ML_Lane 0(n)
11	GND	12	ML_Lane 0(p)
13	CONFIG1	14	CONFIG2
15	AUX CH(p)	16	GND
17	AUX CH(n)	18	Hot Plug Detect
19	Return	20	DP_PWR

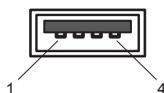
USBコネクタ タイプB(リセプタクル)



No.	信号
1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

UP(USB)

USBコネクタ タイプA(リセプタクル)



No.	信号
1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

DOWN(USB)

故障かな? と思ったら

「故障かな?」という場合、修理を依頼される前に次の事項を確認してください。

症 状	考えられる原因と対処方法
電源が入らない! (LEDインジケータが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードの接続を確認してください。(▶▶▶ P16)• POWERスイッチが入っているか確認してください。
画面が表示されない!	<ul style="list-style-type: none">• 信号ケーブルの接続を確認してください。• コンピュータの電源が入っているか確認してください。• LEDインジケータがオレンジ色になっている場合、コンピュータがパワーセービング(省電力)状態になっている可能性があります。キーボードのキーのどれかを押ししてみてください。• 入力信号の周波数もしくは表示解像度が本機の仕様に適合していない可能性があります。コンピュータの取扱説明書に従って、周波数または表示解像度を調整してください。• LEDインジケータが赤色になっている場合、本製品故障の可能性があります。販売店もしくは修理受付/アフターサービス窓口にお問い合わせください。
画像が正しく表示されない!	<ul style="list-style-type: none">• 入力信号の表示解像度が本機の仕様に適合していない可能性があります。コンピュータの取扱説明書にしたがって、表示解像度を調整してください。
DisplayPort入力で使用しているディスプレイの電源を切ったら、表示が不安定になった!	<ul style="list-style-type: none">• コンピュータの動作中はDisplayPortでデータの通信がおこなわれます。DisplayPort入力で表示中は、ディスプレイの電源スイッチをOFFにしないでください。コンピュータの動作中にディスプレイの電源をOFFにした場合、再度ディスプレイの電源をONにしても表示が不安定になることがあります。電源の投入は、ディスプレイの電源をONにしてからコンピュータの電源をONにしてください。
DisplayPort入力で画像が正しく表示されない!	<ul style="list-style-type: none">• DisplayPort入力は、グラフィックスカード、グラフィックスカードのドライバ、OS等の組み合わせによりうまく表示されない場合があります。推奨のグラフィックスカードについてはお買い求めの販売店にご相談ください。
画面表示が1ライン抜け表示になってしまった!	<ul style="list-style-type: none">• Single-Link用DVIケーブルを使用している可能性があります。必ず付属のDual-Link用DVIケーブルをお使いください。(▶▶▶ P11)

お手入れについて

キャビネットおよび液晶パネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、安全のために電源コードを本製品とコンセントから抜いてからおこなってください。
- キャビネットの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、布に水または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてください。また、化学ぞうきんを使用されるときはその注意書きにしたがってください。
- キャビネットはプラスチックや塗装された板金を使用しております。ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭いたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますのでご注意ください。
- キャビネットに殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり塗料ががれ、ひび割れするなどの原因となることがあります。
- 液晶パネル(保護フィルター)の汚れは、クリーニングクロスに中性洗剤を薄めた液を少量しみこませてやさしく拭き取り、さらにクリーニングクロスで乾いた部分でもう一度拭いて仕上げてください。
- 液晶パネル(保護フィルター)は慎重に取り扱ってください。表面は特殊処理加工が施されています。傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。また、液晶パネルを強く押さないでください。画面の輝度ムラの原因となり、場合によっては故障となります。

製品を廃棄するときは

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社Webサイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<http://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

法人のお客様(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記Webサイトをご参照ください。

個人のお客様

“PCリサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

※ “PCリサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。

※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PCリサイクルマーク”を提供いたします。

お申し込み方法は上記Webサイトをご参照ください。



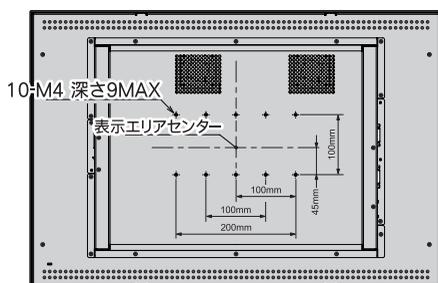
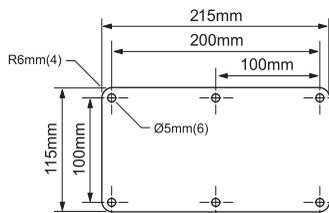
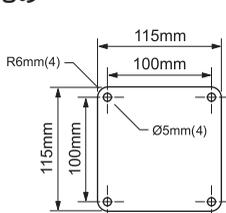
リサイクル

PCリサイクルマーク

市販のアームを取り付けるときは

本製品はスタンドを取り外すことにより、市販のアームを取り付けることが可能になります。本機に取り付けるアームは次の点に注意してアームメーカーにご確認の上、お選びください。

- ・ 100×100mmピッチ、または 100×200mmピッチ取り付けに適合しているもの(下図参照)
- ・ 耐荷重がディスプレイ本体 11.5kg(スタンドを取り外したものと接続されたケーブル等の総重量に耐えられるもの)



ディスプレイ背面図

注意 取り外したスタンドを再度取り付ける場合は、製品購入時に取り付けられていたネジをお使いください。

警告

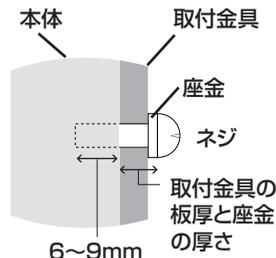
取り付け部分の板金厚により必ず指定寸法のネジを使ってください。ネジの寸法が長すぎる場合は、ディスプレイ内部品を破損したり、ネジの寸法が短すぎる場合は、落下するおそれがあります。

取り付け部分の板金厚	指定ネジ寸法
1.5 ~ 3.5mm	ISO M4 X 12(添付品)

お願い

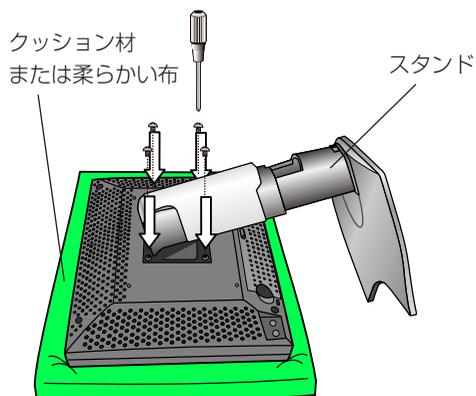
- ・ 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- ・ 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
- ・ アームの取り付けはおお客様の責任においておこなってください。万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・ アームを取り付ける際は、必ず付属のネジまたはM4ネジ(長さは取付金具の板厚と座金の厚さ+6~9mm)をお使いください。それ以外のネジを使用した場合は故障の原因となる恐れがあります。

なお、スタンドの取り外しやアーム取り付けはおお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご承知ください。



アームの取り付け方

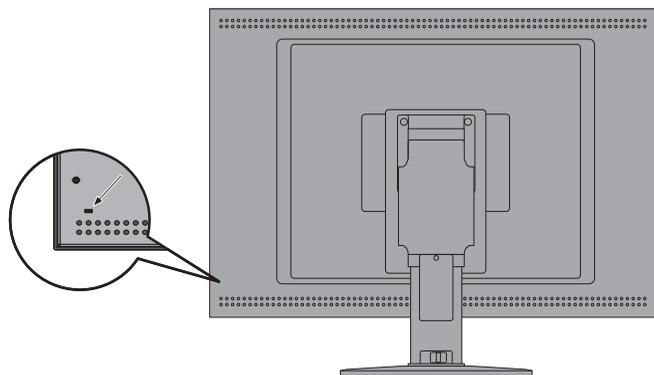
- 1** 液晶パネル面に傷がつかないように、安定した平らな面にクッション材または柔らかい布を敷きます。
- 2** その上に液晶パネル面を下にして本機を置きます。
- 3** スタンドを取り外します。(ケーブルカバーをずらして+ドライバーで右図矢印4カ所のネジを外します。)
- 4** 液晶ディスプレイをアームに取り付けます。(逆の手順でおこないます。)



すでに固定されたアームに液晶ディスプレイを取り付けるような場合は、外れて落としたり、倒れたりしてけがや故障の原因とならないように二人で取り付け作業をしてください。

盗難防止セキュリティロックスロット

本製品には、Kensington社のマイクロセイバーセキュリティロックシステムに対応したセキュリティロックスロットを搭載しています。マイクロセイバーロックは、別途コンピュータ用品販売店などでお求めください。



* Kensington は米国 Kensington社の登録商標です。

仕 様

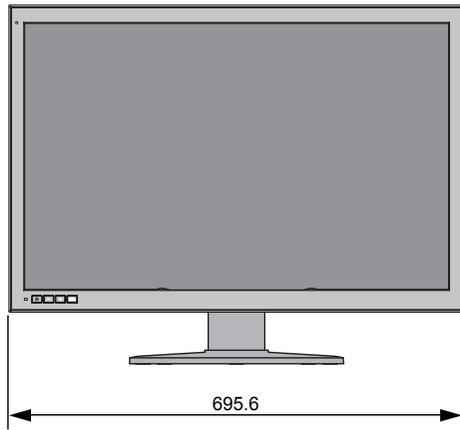
品名：カラー液晶ディスプレイ
 型名：MD302C6

項 目		仕 様											
液 晶 パ ネ ル	液晶表示素子	76.8cm (30型) カラー TFT アクティブマトリックスタイプ、ノーマリーブラックアンチグレア処理											
	画素ピッチ	水平 0.197mm × 垂直 0.197mm											
	表示面積	水平 645.5mm × 垂直 403.05mm (横型状態)											
	画素数	3280 × 2048 ピクセル (横型状態)											
	表示色	8bit 時：約 680 億色中 1677 万色 10bit 時：約 680 億色中 10 億 6433 万色											
	バックライト	LED バックライト											
	液晶光学特性 (typical)	視野角 水平 170 度(コントラスト比 ≥ 10 : 1) 垂直 170 度(コントラスト比 ≥ 10 : 1) コントラスト比 1000 : 1 (視野角上下左右 0°)											
	最大輝度	800 cd/m ²											
輝度*1 (キャリブレーション時)	400 cd/m ² (輝度保証時間：30000 時間 (typ))												
入力同期信号	DVI 1.0 規格準拠、DisplayPort 1.1a 規格準拠												
表示可能解像度	US TEXT, VGA - XGA (表示性能は不問) (Fv=60Hz) 1536 × 2048 (at Fv=60Hz) , 3072 × 2048 (at Fv=30Hz) 1640 × 2048 (at Fv=60Hz) , 3280 × 2048 (at Fv=30Hz)												
入力端子	24 ピン DVI コネクタ × 2、DisplayPort コネクタ × 2												
USB ハブ機能	USB 規格 Rev.2.0 準拠 セルフパワーハブ USB UP ストリームポート × 1、USB DOWN ストリームポート × 2												
使用温度条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>動作</th> <th>非動作時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度</td> <td>5 ~ 35℃</td> <td>-20 ~ 60℃</td> </tr> <tr> <td>湿度 (非結露)</td> <td>20 ~ 80%</td> <td>10 ~ 85%</td> </tr> <tr> <td>気圧</td> <td>700 ~ 1060hPa</td> <td>266 ~ 1060hPa</td> </tr> </tbody> </table>		動作	非動作時	温度	5 ~ 35℃	-20 ~ 60℃	湿度 (非結露)	20 ~ 80%	10 ~ 85%	気圧	700 ~ 1060hPa	266 ~ 1060hPa
	動作	非動作時											
温度	5 ~ 35℃	-20 ~ 60℃											
湿度 (非結露)	20 ~ 80%	10 ~ 85%											
気圧	700 ~ 1060hPa	266 ~ 1060hPa											
電 源	電源入力	AC100-240V 50/60Hz											
	消費電力	標準	173.5W (USB 接続時：180W)										
		パワーセーブ時	22W 以下										
電源入力コネクタ	3P IEC タイプ												
外形寸法と質量	本体のみ 695.6 × 486.5 - 618.2 × 301.6mm (W×H×D) 約 17.6kg												
安全規格	ANSI/AAMI ES60601-1(2005)+A1(2012), CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1(2008), FCC-B, ICES-003-B, CE, VCCI-B, FDA510(k)												

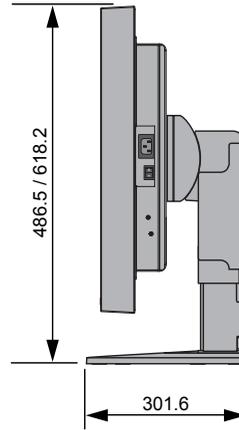
*1 設定可能な最大輝度は550cd/m²

- 環境光69.7lx未満の部屋で使用してください。
- 仕様および外観の一部を改良のため、予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

外形图



【正面图】



【右侧面图】

单位:mm

アフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口

NECモニター・インフォメーションセンター

フリーコール:0120-975-380

受付時間:月～金 9:00～18:00

土・日・祝祭日、は休ませていただきます。また、これ以外の
当社休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名: カラー液晶ディスプレイ
- 型名: MD302C6
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

Registration Information

Declaration

Declaration of the Authorized Representative	
Means of Conformity	NEC Display Solutions Europe GmbH declares that the product listed is in conformity with the essential requirements and provisions of the Council Directive 93/42/EEC, including the amendments of the Council Directive 2007/47/EC, and conforms to the applicable clauses of the following standards:
Device Classification: Class I, non-measuring function	 <ul style="list-style-type: none">- EN 60601-1- EN 60601-1-2- EN 61000-3-2- EN 61000-3-3
Applicable Rules: Annex IX, Rules 1.4 (Section 1) and 1.1 (Section 3)	
Product Name: MD302C6 30.0" Diagnostic Imaging LCD Monitor	
Model Number: MD302C6	
UMDNS Code: 16-603	NEC Display Solutions Europe GmbH Landshuter Allee 12-14. 80637 Muenchen, Germany

FCC Information

- Use the attached specified cables with the MD302C6 color monitor so as not to interfere with radio and television reception.
 - Please use the supplied power cord or equivalent to ensure FCC compliance.
 - Please use the supplied shielded signal cable.Use of other cables and adapters may cause interference with radio and television reception.
- This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
 - Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.If necessary, the user should contact the dealer or an experienced radio/television technician for additional suggestions. The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful: "How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems." This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington, D.C., 20402, Stock No. 004-000-00345-4.

Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions. (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

U.S. Responsible Party:	NEC Display Solutions of America, Inc.
Address:	500 Park Boulevard, Suite 1100 Itasca, Illinois 60143
Tel. No.:	(630) 467-3000

Type of Product: Display Monitor
Equipment Classification: Class B Peripheral
Model: MD302C6

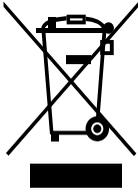


We hereby declare that the equipment specified above conforms to the technical standards as specified in the FCC Rules.

Classification

- * Type of protection against electric shock: CLASS I equipment
- * Degree of protection against electric shock: No applied part
- * Degree of protection against ingress of water as detailed in the current edition of IEC529: IPX0 - No protection
- * Method of sterilization or disinfection recommended by the manufacturer: Not Specified
- * This device is not suitable for use in the presence of a flammable Anaesthetic Mixture with Air, Oxygen or Nitrous Oxide: No AP or APG category
- * This device shall not be used in the vicinity of the patient, which is the space with surfaces likely to be contacted by the patient or an attendant who can touch the patient. This encloses a space within the room 1.83 m (6 feet) beyond the perimeter of the bed in its intended location, and extending vertically 2.29 m (7-1/2 feet) above the floor.
- * Mode of operation: Continuous operation, maximum 16 hours/7 days

WEEE Mark (European Directive 2012/19/EU)



Within the European Union

EU-wide legislation, as implemented in each Member State, requires that waste electrical and electronic products carrying the mark (left) must be disposed of separately from normal household waste. This includes monitors and electrical accessories, such as signal cables or power cords. When you need to dispose of your NEC display products, please follow the guidance of your local authority, or ask the shop where you purchased the product, or if applicable, follow any agreements made between yourself and NEC.

The mark on electrical and electronic products only applies to the current European Union Member States.

Outside the European Union

If you wish to dispose of used electrical and electronic products outside the European Union, please contact your local authority so as to comply with the correct disposal method.

オープンソースソフトウェアライセンスについて

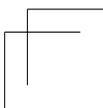
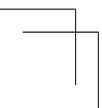
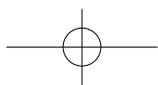
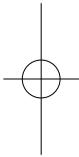
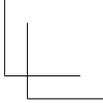
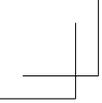
TOPPERS/ASP Kernel
Toyohashi Open Platform for Embedded Real-Time Systems/
Advanced Standard Profile Kernel

Copyright (C) 2005-2008 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
Graduate School of Information Science, Nagoya Univ., JAPAN

上記著作権者は、以下の(1)～(4)の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェア(本ソフトウェアを改変したものを含む。以下同じ)を使用・複製・改変・再配布(以下、利用と呼ぶ)することを無償で許諾する。

- (1) 本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定が、そのままの形でソースコード中に含まれていること。
- (2) 本ソフトウェアを、ライブラリ形式など、他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には、再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
- (3) 本ソフトウェアを、機器に組み込むなど、他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には、次のいずれかの条件を満たすこと。
 - (a) 再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること。
 - (b) 再配布の形態を、別に定める方法によって、TOPPERS プロジェクトに報告すること。
- (4) 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも、上記著作権者および TOPPERS プロジェクトを免責すること。また、本ソフトウェアのユーザまたはエンドユーザからのいかなる理由に基づく請求からも、上記著作権者および TOPPERS プロジェクトを免責すること。

本ソフトウェアは、無保証で提供されているものである。上記著作権者および TOPPERS プロジェクトは、本ソフトウェアに関して、特定の使用目的に対する適合性も含めて、いかなる保証もおこなわない。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わない。



NECディスプレイソリューションズ株式会社

(NEC Display Solutions, Ltd.)

東京都港区三田一丁目4番28号

TEL : 03-5446-5300(大代表)

NEC Display Solutions of America

500 Park Blvd. Suite 1100 Itasca, Illinois 60143

Phone: +1-630.467.3000

Fax: +1-630.467.3010

NEC Display Solutions Europe GmbH

Landshuter Allee 12-14

D-80637 Muenchen

Germany

Phone: +49(0)89/99699-0

Fax: +49(0)89/99699-500

1st Edition, June 2014



PZZ11-2121

Printed in Japan